



2024年12月10日
第96号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第4号

「南武線ワンマン運転について」に関する解明申し入れ 【全25項目】団体交渉を行う！④



3項「サービス面が低下しない根拠を明らかにすること。具体的には、エアセクション時の案内放送、他線区における輸送障害時の案内放送、快速列車と各駅停車との待ち合わせ放送、駅社員との連絡方法、異常時放送(TIMS)放送の内容を明らかにすること。」の続き

組 合	会 社
☆車両に搭載されている自動放送の機能について	
ワンマン運転に伴う放送等で、新たに加わる機能（TIMS画面の自動放送含む）はあるのか。	TIMS画面をタップして出てくる自動放送は26項目が既存で車両に搭載されている。 大雨や運転打ち切り、沿線火災や人身事故等の定型文が入っている。現在も車掌が使用できる機能である。
鶴見線の車両に搭載されているものと内容は同じなのか？	全く同じである。
自動放送で、繰り返し機能は付いているのか。	繰り返しではなく、押して1度だけ放送が流れる機能 である。
☆乗り換え接続について	
尻手駅での南武支線との乗り換え調整について、ワンマン運転になることによって運転士がそれ相応に段階を踏んで案内放送等をやっていくという考えなのか。	尻手駅場面の乗り換え放送について、乗務員だけでなく 駅社員含めて総体で 、案内や教育を含めてできることをやっていく考えに変わりはない。駅も含めて今後話をしていく。
川崎駅での終電乗り換え接続について、駅が責任をもって行うという認識でよいか。	ワンマン運転になっても無くなるわけではないので、駅と調整しながらやっていく。 ポイント 今後、駅と調整していく！

4. ワンマン運転を担う運転士の教育・訓練内容について明らかにすること。

【会社回答】ワンマン運転の実施に向けた各種取り扱いについては、必要な教育・訓練を実施している。

組 合	会 社
☆異常時放送に対する教育の考え方について	
車掌がこの間やってきた異常時放送に対する教育の考え方について、明らかにすること。	南武線オフィスとコミュニケーションを取っているが、基本動作含めて中原支所で現車を使用しながら5月から始まり、段階的にホームドア訓練も7月からやっていると聞いている。駅直の運転士、エルダーで駅を経験していない方もいると聞いている。車掌未経験者については、放送も含めて車掌業務を知るところでフォローしていくと聞いている。
ワンマン運転に向けた異常時放送等の教育は、全体ではやらないということなのか。	全体でやらないとは聞いている。まずは、 車掌未経験者からフォローしていく と聞いている。
☆基本動作、トライアルを含めた教育期間と内容について	
今までやってきたものも含めて教育の期間、そのスパンの中でのようなカリキュラムを組んでいるのか示すこと。	5月から7月にかけて、中原支所において現車を使用した基本動作を含む訓練。7月から8月にかけては、シミュレーターを使用した訓練とホームドアの訓練、夜間の試運転。10月からは営業列車を使用した訓練がスタートしている。ホームドアの設置工事を見ながら、ワンマン運転が開始されるまで段階的に訓練区間を少しずつ広げながらやっていく。
（トライアルについて）現行は日中帯で行われているが、他の時間帯に拡大する考えはあるのか。	南武線オフィスと話しているが、 ラッシュ帯を含めて様子を見ながら訓練をしていきたいと考えている。
今後もラッシュ帯、特に夜は照明等で明るさが変わるので、今までにあるカリキュラムにプラスしてラッシュ帯も訓練を実施していくということよいか。	やり方については、南武線オフィスと調整していく。各駅で運転台の乗降確認用モニターが映る状態になっているので、それも見ていただきたい。
理解度確認、体で体得していく等の進捗状況等についてはどのように捉えているのか。	繰り返しになるが、南武線オフィスの指導員含めてコミュニケーションを図っている。その中で、指導員から「習熟が早い」方もいる」ということや、「もう一度訓練をやった方がよい」という場面もある」と聞いている。そういうところを、丁寧にケアしてきた。 相模線や鶴見線の時と同様に考えは変わらないので、丁寧に進んでいきたい。
訓練を重ねて資質や技量の判断は行うのか。	日々みなさんに関わること。現場管理者と話しながら、全体を見させていただくという考えである。
最終的には本人とコミュニケーションを図り、不安の無いように教育を実施していくべきだと感じるが、この点の認識はどうか。	そこは 我々も同じ考えである 。丁寧に進めていきたい。
川崎～立川間、始発から終着まで通しでやる教育は考えているのか。	そこも視野に入れながら 南武線オフィスと話している。 ポイント 全線でトライアル実施を検討！
現段階において、支社として思い描いていたスケジュール通りに進んでいるのか。	支社と南武線オフィス双方で考えているスケジュール通りに進んでいる。

次号⑤へ続きます。